

# 第16回院内学習会

## 日本農業と日米 FTA・日欧 EPA

### ～ 種苗法から食卓まで ～（仮題）

2020年11月19日(木)午後3時30分～午後5時

参議院議員会館第101会議室(1階)

NPO 司会 松本恵美子(弁護士・薬剤師)

ご出席議員のご紹介とご挨拶

講演1 だいじょうぶ？ 輸入食品 ～ 日米 FTA・日欧 EPA と消費者 ～

小倉 正行 先生(ジャーナリスト)

「TPP11 と日 EU 経済連携協定、そして日米貿易協定。1988年牛肉オレンジ自由化から32年。日本の農業と国民の食生活はどうなったか、そしてどうなる？」

メガ輸入自由化が日本を直撃している。政府は、国内対策をとっているから問題ないとしているが、果たしてそうなのか。1988年牛肉オレンジの自由化以降、日本農業と国民の食生活はどうなったのか、検証をしてみる。

講演2 種苗法改定で日本の農業はどうなる？

山田 正彦 先生(弁護士、元農林水産大臣、元衆議院議員)

種を制する者は食料を制して、食料を制する者は世界を制する。

先ず2018年に種子法を廃止して日本の主食であった伝統的な公共の種子を無くし、農業競争力強化支援法を成立させて国の育種機関(独)農研機構、各都道府県の優良な育種知見(知的財産権)を民間企業に提供させる。そうして今回登録品種の自家採種一律禁止の種苗法改定案をこの臨時国会で成立させようとしている。日本の農業はどうなるのだろうか。

質疑とまとめ…参加者の方々からのご質問にお答えします。

\*5時10分～40分 地下の食堂で、ささやかな交流会(名刺交換会)の開催(検討中)

定員:100名(無料) 〆切:11月12日(木)午後5時(資料作成のため、事前にお申込下さい。)

申込先:NPO 法人食品安全グローバルネットワーク 中村幹雄

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目2-12 CSビル3階

FAX:06-6305-8614 メール:mikio@nakamura.in 携帯:090-3280-4181